

## 第 29 期東京都立図書館協議会について

### 1 協議テーマ（案）

#### 「都立図書館ならではのサービスを考える」 － 保有する情報資源の一層の活用を目指して －

第 28 期東京都立図書館協議会において、「利用環境のあり方」を焦点に、「多様な学習形態や利用スタイルに応じた利用環境」及び「誰もが快適に利用できる環境」の 2 つの視点で整理し、同時に、利用環境に関わる「サービス」「広報」のあり方についても提言が示された。

第 29 期では、A I や I o T 等の普及、都内公立図書館の充実や国立国会図書館のサービス拡大といった社会情勢の変化の中で、都立図書館が蓄積してきた情報資源を一層活用した、都立図書館ならではの今までとは違うサービスについて協議いただく。

### 2 協議の視点

#### （1）新しい技術を活用したサービス

A I 及び I o T、I C T（情報通信技術）の進展は、個人の生活や学びのほか、対話型・グループ型の学習形態などへも影響の広がりを見せている。都立図書館においては、来館者・非来館者に関わらず、これら新しい技術を活用し、都立図書館が保有する情報資源が一層活用されるようにしていく必要がある。新しい技術を活用した都立図書館だからこそ提供可能なサービスについて協議をいただく。

#### （2）専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス

都内には、多くの専門図書館や大学図書館等が存在している。より多くの方に利用していただくために、これまでの他機関連携を踏まえ、都立図書館保有の情報資源を一層活用した、都立図書館流の他機関連携サービスについて協議をいただく。

### 3 協議の留意点

長期的な検討では技術の進展に遅れをとる可能性があるため、短期的に実現できるサービスを中心とした協議とする。また、図書館における様々なサービスのうち、レファレンス、蔵書活用、その他の新たな機能、の 3 点を中心に、比較的利用の少ない若年層の利用も意識しながら協議する。

### 4 協議の方法

協議内容に応じ作業部会を設置し、定例会に向けた実質的な協議及び提言とりまとめのための資料調整を行う。

【作業部会設置案】※部会名は仮称

<b>新しい技術を活用したサービス部会</b>
松本直樹委員（部会長）・江草由佳委員・高口太郎委員・伊藤稔委員
<b>専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス部会</b>
松本直樹委員（部会長）・内田剛史委員・久我尚子委員・結城智里委員

## 5 協議スケジュール（案）

年月	定例会	作業部会
元 年 度	8月 <b>第1回</b> 協議テーマの決定 協議の進め方及び作業部会設置の決定	
	9月	<b>第1回</b> 「新しい技術を活用したサービス」（仮） について協議
	11月 <b>第2回</b> 「新しい技術を活用したサービス」（仮） について協議	
	1月	<b>第2回</b> 「新しい技術を活用したサービス」（仮） について協議
	3月 <b>第3回</b> 「新しい技術を活用したサービス」（仮） について協議	
2 年 度	5月	<b>第3回</b> 「専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス」（仮）について協議
	6月 <b>第4回</b> 「専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス」（仮）について協議	
	7月	<b>第4回</b> 「専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス」（仮）について協議
	9月 <b>第5回</b> 「専門図書館、大学図書館等の他機関と連携したサービス」（仮）について協議 提言のとりまとめに向けた課題整理	
	10月	<b>第5回</b> 提言骨子案作成及び提言（案）協議
	12月 <b>第6回</b> 提言骨子案及び提言（案）協議	
	1月	<b>第6回</b> 提言（案）協議
	3月 <b>第7回</b> 提言の確定	